

自然共生研究センター20年の軌跡

【11～20年】

開所11年目～20年目の期間では、先の中小河川・ダム・情報発信に大河川を加えた4つの領域について、更なる研究を進めてきました。表中の質問形式の課題に関して取り組んだ内容の詳細は、各年度の活動レポートに掲載されています。

	2008年／平成20年	2009年／平成21年	2010年／平成22年	2011年／平成23年	2012年／平成24年	2013年／平成25年	2014年／平成26年	2015年／平成27年	2016年／平成28年
① 大河川 氾濫原環境の劣化機構の解明と保全手法に関する研究	<p>ワンドの造成は水生生物に良い効果をもたらすのでしょうか？</p> <p>どうして洪水の影響を受けるワンドが淡水二枚貝の生息に適しているのでしょうか？</p>	<p>ワンドの冠水頻度や底質の違いは、水生生物の定着に影響するのでしょうか？</p> <p>どうして冠水しやすいワンドでは、魚類の多様性が高いのでしょうか？</p>	<p>天然記念物イタセンバラが生息する水域の特徴は？</p>	<p>二枚貝がたくさん棲める場所には、魚類もたくさん棲めるのでしょうか？</p> <p>高水敷をどの程度の高さで切り下げれば二枚貝の生息可能な水域ができるでしょうか？</p>	<p>河川下流部で優先的に保全・再生を図るべき場所を見つける方法がありますか？</p>	<p>二枚貝が好む「たまり」の形状や特性とは？</p>	<p>二枚貝の生息に適した「たまり」の幅を教えてください。</p>	<p>高水敷前後に形成されるワンド・たまりの数と二枚貝の生息量は経年的に変化しますか？</p>	<p>二枚貝の生息に適したワンド・たまりの冠水条件は河川によって異なりますか？</p>
② 中小河川 多自然川づくりに関する研究	<p>水際域を修復するための効果的な木杭群の配置パターンは？</p> <p>自然河岸と護岸された河岸では、河岸の構造や機能はどのように異なるのでしょうか？</p>	<p>タナゴ類が棲める水路はどのような環境でしょうか？</p> <p>河岸を利用する生物にとって、どのような河岸法面が登坂しやすいのでしょうか？</p>	<p>護岸はどのような色や形状であれば周囲の景観と調和するのでしょうか？</p>	<p>維持管理が容易となる中小河川の工夫を教えてください。</p> <p>護岸表面のテクスチャーはどのように評価すればよいのでしょうか？</p>	<p>帯工や落差工よりも水生生物の移動や生息に配慮した工法はありませんか？</p> <p>中小河川の河床地形は何によって決まりますか？</p> <p>護岸に使用されるコンクリートブロックの表面形状は河川景観に影響しますか？</p>	<p>川幅の変化は何に影響を与えますか？</p> <p>護岸の景観パターンを選ぶ際の留意点を教えてください。</p>	<p>環境が劣化した中小河川で瀬・淵を創出するにはどうすればよいですか？</p> <p>河川環境を定量的に評価するツールはありますか？</p> <p>河川景観を保全するために必要な緑化ブロックの植栽率について教えてください。</p>	<p>治水・環境・維持管理計画のサポートするための具体的な指標ツールはありますか？</p> <p>大型コンクリートブロックにおける景観上の配慮のポイントは何かですか？</p>	<p>河川景観に馴染みやすい護岸ブロックのテクスチャーの評価方法はありますか？</p>
③ ダム ダム下流域の環境評価と改善手法に関する研究	<p>川の水が増えたとき、遊泳魚は石のすきまに避難するのでしょうか？</p> <p>アユやオイカワの摂食によって付着藻類膜の性状は変化するのでしょうか？</p> <p>土砂還元の効果客観的に示す方法はないのでしょうか？</p>	<p>土砂還元は河川の一次生産をどのように変化させるのでしょうか？</p>	<p>濁水が付着藻類に及ぼす影響は流速によって異なるのでしょうか？</p>	<p>川底をたくさんの砂が覆うと底生魚はどうなりますか？</p> <p>濁水に含まれる成分によって礫表面の付着藻類への影響は異なるのでしょうか？</p>	<p>シルトを多く含んだ藻類を水生昆虫は食べるのでしょうか？</p> <p>濁った水の中での魚の行動はどのように把握できるのでしょうか？</p>	<p>付着藻類にたまったシルトは、どのくらいの時間で洗い流されるのでしょうか？</p> <p>川底の凹凸が変化すると遊泳魚も影響されるのでしょうか？</p>	<p>ダム下流の河床材料の変化が魚類に及ぼす影響を評価する方法はありますか？</p> <p>川が濁るとアユはどのような行動をとるのでしょうか？</p>	<p>河床に砂を供給した後、付着藻類の現存量はどのように変化しますか？</p> <p>河床に細粒土砂が堆積して石礫が埋没すると、アユにどのような影響がありますか？</p> <p>淵に土砂が堆積し水深が減少するとどのような魚類に影響しそうですか？</p>	<p>ダム下流に土砂を含む放流が行われた場合、付着藻類はどのように変化するのでしょうか？</p> <p>ダムからの土砂供給によって魚類の顔内容は変化しますか？</p>
④ 情報発信 河川環境の効果的な情報発信手法に関する研究	<p>体験学習を通じて得た部分的な情報を、有機的に結びつける方法はありますか？</p>	<p>河川環境の基礎知識をフィールドで学ぶことはできますか？</p>			<p>河川生物の生態は、どうすれば効果的に伝えることができるのでしょうか？</p>	<p>「生物多様性」の展示では、どのような話題が扱われているのでしょうか？</p>	<p>研究に関する情報の展示には、どのようなメディアが適しているのでしょうか？</p>		
その他	<p>・天然記念物ミヤコタナゴの浮上稚魚はどんな場所にみられるのでしょうか？</p>		<p>・護岸のり面の湿潤度や温度変動の違いは、非飛翔性生物の多様性に影響するのでしょうか？</p> <p>・魚が水際部に行ける流れの遅い場所を必要とするのは、どんな時でしょうか？</p> <p>・人工水車を入れると池の透明度が向上するのでしょうか？</p> <p>・1年を通して魚が棲める水路の条件とは？</p>		<p>・川の形を測る最新の方法にはどのようなものがあるのでしょうか？</p>			<p>・礫洲への種子の定着量に影響を及ぼす要因は何でしょうか？</p>	
河川に関わる社会の動き	<ul style="list-style-type: none"> ●多自然川づくりポイントブックII ●生物多様性基本法 	<ul style="list-style-type: none"> ●かわまちづくり支援制度 	<ul style="list-style-type: none"> ●下流河川土砂還元マニュアル(案)第2版 	<ul style="list-style-type: none"> ●多自然川づくりポイントブックIII 	<ul style="list-style-type: none"> ●水防法及び河川法の一部を改正する法律 	<ul style="list-style-type: none"> ●河川協力団体制度の創設 	<ul style="list-style-type: none"> ●グリーンインフラの一環としての多自然川づくりの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ●水防災意識社会再構築ビジョン 	